



# 拓け！自らの可能性

進路だより 第4号

令和7年3月10日発行

～社会参加に向けて～

だて支援学校キャリア支援部

## 校長あいさつ



日頃より、本校のキャリア教育への御理解と御協力をいただき感謝を申し上げます。

「キャリア発達」とは「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程」とあります。どうしてもキャリア＝仕事と捉えがちですが、目指すところは「自分らしい生き方を実現する過程」であります。今、世界中で自分らしい生き方を実現している人は数多くいますが、もっとも有名な方は大谷翔平選手ではないかと思えます。インターネット上にこんな記事を見つけました。

「大谷翔平が今も大切にしている、父の3つの教え」【<https://toyokeizai.net/articles/-/216153?page=5>】

1つ目は、「大きな声を出して、元気よくプレーする」、2つ目は、「キャッチボールを一生懸命に練習する」、3つ目は、「一生懸命に走る」、これは野球というスポーツをする上で基本中の基本です。野球を始めたばかりの小学生にもわかりますよね。メジャーリーガーとなった今、テレビで見る大谷選手はまさにこの3つの教えを実践しているように見えます。スーパースター軍団のロサンゼルスドジャーズにおいて、大谷選手ほど野球を心底楽しみ、真剣にプレーする選手はいないのではないのでしょうか。他の選手も尊敬し、憧れ、大谷選手のように考え、振舞い、プレーする。それが世界一の結果につながったのではないかと思います。本校では、今年度児童生徒の願いとして【みんなが 自ら あいさつできる 明るい学校】として学校経営運営ビジョンに掲げました。児童生徒それぞれが、自分らしくこの願いを達成されることがより良い学校、よりよい社会へつながっていくと確信しております。

今後も自ら学び、自ら考え行動する力を身につけて、次のステージで活躍を祈るばかりです。

## 身だしなみ講座



令和7年2月3日に本校にて高等部3学年生徒を対象に「身だしなみ講座」を開催しました。

卒業を前に、身だしなみのポイントや大切さについて、より理解を深めるために、外部講師として、保原美容組合から7名の皆様にいらしていただきました。

内容としては、ホットタオルで顔をさっぱりとした後に、化粧水の付け方を実際に教えていただきながらやってみました。その後、ヘアセット、メイクなどをしていただきました。

講師の方に自分の希望の髪型を伝えたり、メイクの方法を教えていただいたりしながら、やりとりを楽しむ様子が見られました。

生徒からは「初めてお化粧をした。楽しかった。」「これからも自分で身だしなみに気をつけて、すてきな大人になりたい。」などの感想が聞かれました。

講師の皆様、温かい雰囲気の中で、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

◇ 今年度の卒業生は、小学部6名、中学部8名、高等部11名の児童生徒です。

高等部卒業生11名は4月からは自分で選んだ道を歩き始めます。それぞれの地域の中で、自分の役割を果たしながら、健康で充実した毎日を過ごしてほしいと願っています。

令和6年度の各学部卒業生の進路先状況は、以下の通りです。

進路指導主事 江田 綾

○小学部卒業生 6名

進学（6）	本校中学部進学予定（6名）
-------	---------------

○中学部卒業生 8名

進学（8）	本校高等部進学希望（8名）
-------	---------------

○高等部卒業生 11名

分類	進路先区分	人数	進路予定先
進学	職業能力開発施設	1名	・ 国立県営 宮城障害者職業能力開発校
就職	企業	5名	・ 株式会社内田化工 ・ 株式会社しまむら ・ 株式会社日ピス福島製造所 ・ 株式会社ホリエ商事 ・ 株式会社ヨークベニマル
社 障 サ 害 ー 者 ビ 総 ス 合 事 支 業 援 所 法 に 基 づ く 福	就労移行支援事業所	0名	
	自立訓練（生活訓練）	1名	・ 株式会社アンドテラス おすびカレッジ福島駅前校
	就労継続支援A型事業所	0名	
	就労継続支援B型事業所	2名	・ NPO法人 Sosora garden モンステラ ・ NPO法人ポネール障がい者就労支援 福祉ハウスポネール
	生活介護事業所	1名	・ 合同会社スマイルスマイル 杜の笑
その他	共同生活援助事業所	0名	
	在宅	1名	

## 職業講話



令和7年1月31日（金）、本校高等部3年生の企業就労希望生徒を対象に職業講話を行いました。講師として、福島公共職業安定所 専門援助部門の担当者様にいらしていただきました。

就職を前に「長く働くために大切なこと」や「職場でのルールやマナー」などについて生徒たちとやりとりを交えながらお話ししていただきました。2ヶ月後に就職を控えた生徒たちは真剣に話を聞き、メモをとりながら、問いかけによく考えて自分の言葉で答える姿が見られました。

生徒の感想の一部を紹介します。

- ・ 組織の一員として、責任ある行動を心掛けたい。
- ・ SNSの扱いに気を付けて、困った時はすぐに周囲の方に相談するようにしたい。
- ・ 心配だったことが今日、話を聞くことができ不安が解消された。



## 今年度の進路指導を振り返って

小学部教諭 岩佐 信子

小学部では、自分の身の回りのことや人とのかかわり、集団参加等が進んで行えることを目標に、進路指導に取り組んでいます。

子供達は、日々の生活の中で「おはようございます」「ってきます」等の挨拶を積み重ね、進んで挨拶ができるようになってきました。また、学級の朝の会の当番活動では、友達や教師の名前を呼んだり、友達に質問したりし、やりとりする経験を積んできました。言葉や身振り等、自分なりの方法で自分の気持ちを伝えたり、相手の話を最後まで聞いたりする姿が見られるようになってきました。

他学級や他学年との集団活動でも、自分から友達にかかわったり自分の考えを伝えたりする姿が見られるようになりました。また、当番として会を進行したり皆と協力して準備や片付けを行ったりし、自分の役割を果たす姿も見られるようになってきました。

これらのような日々の一つひとつの積み重ねが将来、自立的な生活をしようとする意欲や力につながっていくことを願っています。

中学部教諭 熊田 成臣

中学部の作業学習では、今年度も木材加工や農業、紙工などの活動に取り組みました。10月には2週間の校内実習を行い、返事や報告について学習したり、道具の使い方のスキルアップなどに取り組んだりしました。また、作った製品を「だてっこみらいフェスティバル」で販売することで、製品を買っていただき喜ばれることのすばらしさややりがいを実感することができました。

中学部3年生は、高等部の作業学習を見学させていただきました。またどのような作業をしているのか間近で見たり、作業に向かう姿勢や態度について話を聞かせていただいたりしました。高等部の先輩が一生懸命に作業に取り組む姿は、進路について考える良い機会となり、「やってみたい。」「これは難しそう。」などと感想を述べる生徒もおり、作業への意欲を高めることができました。

中学部での作業学習を通して培った力を卒業後の生活にいかし、それぞれのフィールドで充実した日々を送ってほしいと願っています。

高等部教諭 阿曾 一寛

3年生11名は無事、卒業を迎えることができました。本人たちの努力はもちろんですが、これもご支援していただいた保護者の皆様、地域の方々のおかげと感謝申し上げます。

担任としての3年間は「教室の中の小さな物語」に心動かされる毎日でした。授業では、見られない生徒たちの「思い」が、すきま時間にあらわれます。時には生徒のやさしさに癒され、時には「思い」に翻弄されます。日々の物語がバッドエンディングにならないように、生徒たちと一緒に考えることで互いに成長を感じることができました。

授業のみならず、お昼休みや部活帰りにも、多くの先生方が生徒たちの「思い」に寄り添いながら、生徒たちを大事にいただいたこと学年一同、感謝しています。

多くの生徒が進路希望を実現しましたが、より可能性を広げるため、満足することなくキャリア教育の充実を目指す姿勢が大事だと自分に言い聞かせ、3年間という大切な時間を共有した卒業生の前途ある未来を応援しています。

## 高等部卒業生から

K・K

私は自分の目標を「自ら」と決め、各種活動を積極的にやろうと取り組んできました。生徒会副会長に立候補し、作業技能大会にも出場しました。また学校祭実行委員長を任せていただきました。これまでの私でしたら、「自ら」進んで行動できませんでした。担任の先生や周りの友達からの後押しもあり、リーダーシップを学ぶことができました。途中は不安なことや大変さを感じましたが、やり終えたときはやりがいや達成感を感じて自信につながりました。「やってみよう」という一歩を踏み出すのは勇気があることでした。緊張感や失敗したら嫌だと思ふ気持ちもありました。しかし、やってみないとわからないし、失敗しても次につなげることに、そして失敗しないようにさらに準備をして挑むことが大事だと考えるようになりました。

卒業してからも不安なこともあります。だて支援学校で学んだことを生かし、周りの人と相談や確認をして「自ら」行動できる社会人になりたいです。

S・H

私が進路に向けて特に力を入れたことは、現場実習です。2年生からの校外実習では介護施設やスーパーマーケットなどを経験しました。スーパーマーケットの実習では、品出し作業や前出し作業を行いました。お客様に聞かれたことに対応をしたことで、感謝され、そこにやりがいを感じました。その経験から人と関わる仕事に就きたいと考えました。

3年生になってから、進路を考える上で、もう少し仕事に関する技能を高めたいと考え、進学をすることに決めました。将来は、人と関われる職種の企業に就職したいと思っています。

4月からの進学先では、今までと違う寮での生活になるので、自立した生活を身に付けて将来に向けて努力していきたいです。

O・S

3年生の現場実習では、1か所の実習先で2回実習を行いました。初めての实習先ということもあり、初めての作業に取り組むことや自分の思いや気持ちを伝えることが難しかったです。そこで、学校でも自分の思いや気持ちを伝える学習を行ってきました。後期実習では環境にも慣れ、自分の気持ちや思いを少しずつ伝えることができたことで前期実習では取り組めなかった作業にも挑戦することができました。

4月からは、事業所に通います。これからも色々な作業に挑戦したいです。

令和6年度 企業対象高等部作業学習見学会・意見交換会より…

◎意見交換会でのテーマ

- ①障がい者雇用の現状と課題
  - ②雇用する際に重視すること
  - ③長く働き続けるために在学中に身につけておいた方が良い力
- についてご意見をいただきました。特に多かったキーワードは

「就労意欲」「挨拶」「健康」「素直さ」「家庭との連携」

次年度も保護者様と情報を共有しながらキャリア教育を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。